

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校給食用備品整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町			
交付金事業実施場所		六日市共同調理場（吉賀町六日市）			
交付金事業の概要		<p>吉賀町では、地方創生を実現するため、吉賀町版「まち・ひと・しごと創生吉賀町総合戦略」において、「子どもを育み、子どもと共に発展するまちを目指して」を基本理念に全町一体となってさまざまな課題に取り組んでいます。学校給食については、子育て世代の経済的負担の軽減を目的として、平成27年度からは「小中学校給食費無償化」に取り組むなど、子育て環境の充実を目指して支援しています。吉賀町では学校給食を提供する直営調理場が3箇所ありますが、経年劣化していく施設の修繕等の経費は増加傾向となっています。そのような中、使用している調理器具等の多くが老朽化しており、計画を立てて順次更新していく必要があります。とりわけ、六日市共同調理場の製氷機については平成13年度に購入したものであり、正常に稼働していない状況が続いており、安全な食の提供に支障をきたしているため、更新を実施します。</p> <p>令和2年度の実施内容 全自動製氷機 1台（更新）</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月） 基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町を支える人材育成」 1. 活力ある学校づくり 3) 健やかな体づくり (3) 「食」をテーマとした生活づくり 具体策：学校給食の自給率向上の推進、学校給食共同調理場に専属の調理場長、調理員等確保の検討</p>			
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度
事業期間の設定理由					
		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和2年度
		六日市共同調理場において、2学期中に給食を実施すべき日数のうち安全に提供できた日数の割合を100%にする。	給食を安全に提供できた日数÷給食を実施すべき日数	成果実績	100
				目標値	100
				達成度	100

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後、早急に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和 年度	令和 年度
	自動製氷機の整備台数	活動実績	台	1		
		活動見込	台	1		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	年度	備考		
総事業費	330,000	278,300				
交付金充当額	300,000	200,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	300,000	200,000				
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	製氷機購入	随意契約（少額）	新光プロパン瓦斯株式会社（吉賀町）	278,300		
	計			278,300		
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会					